



報道各位

新潟市消防局予防課

## 火災による死者多数発生 緊急出火防止

### － 火災により9名の死者が発生 －

令和8年に入り、火災により9名の方が亡くなっています。わずか3ヶ月の間で多くの死者が発生したことは、近年にない重大な事態であることから、緊急出火防止対策を実施しています。

火災による被害の低減、死者の発生を防ぐために、報道各位からの積極的な広報へのご協力をお願いいたします。

#### 広報の主眼

##### (1) 火災による死者の低減

火災により9名の死者が発生し、近年にない発生状況であり、死者の多くが高齢者で逃げ遅れにより亡くなっている。

新潟市の火災による死者数は、ここ5年間の年間平均で5.6人となっており、令和8年はわずか3か月間で年間平均死者数を上回っており、住宅火災だけで8名の死者が発生している。

※裏面参考あり

##### (2) 注意すべき住宅火災の原因トップ3

- ①電気関係 ⇒リチウムイオン電池の適切な取扱い（充電は安全な場所で、目の届く範囲で行うこと、過充電にしないこと、指定された充電器・電圧で行うこと、発熱や変形に注意すること。）、電気コードの点検、コンセント周りの清掃。
- ②たばこ ⇒寝たばこや、飲酒時の喫煙はしないこと。吸い殻には水をかけて、完全に消火してから捨てる。
- ③ストーブ ⇒周囲に可燃物を置かない、可燃物付近に設置しない、就寝・外出時は必ず消火する。

##### (3) 住宅用火災警報器について

住宅用火災警報器は平成18年から義務化され、今年で20年目となる。正常に作動するか定期的に点検し、電池切れや故障を防ぐため、設置から10年を目安に本体交換を推奨する。



※特に高齢者世帯には、住宅用火災警報器取付サポート制度を周知すること。

**【参考① 過去5年の傾向 (R3~R7)】**

- ・死者 28 名、うち高齢者 20 名
- ・住宅火災では死者 22 名、うち高齢者 19 名 : 住宅火災 20 件  
死者の多くが逃げ遅れにより亡くなっている。

住宅用火災警報器 設置なし 7 件・不明 8 件 (75%) . . . 17 名死亡、うち高齢者 12 名  
設置あり 5 件 . . . 5 名死亡 (全て高齢者)

**【参考② 今年3月の傾向】**

住宅を含む建物火災の防止

- ・今年3月の火災は、25件発生し、過去5年平均(17件)に比較し、7件の増
- ・建物火災が18件で75%を占め、うち10件が住宅火災

**【問合せ先】**

新潟市消防局予防課 (藤田・小林)

電話 025 - 288 - 3230 FAX 025 - 288 - 3215

E-mail yobo.fb@city.niigata.lg.jp